

No.619

法音

令和3年
5月号

— 今月のご法話 —

運を引き寄せる

目蓮宗
法音寺



勇猛精進

慈悲

今日一日、
人を喜ばせましょう

今日一日、
笑顔で人に接しましょう

今日一日、
ほめ合って暮らしましょう

今日一日、
一善を積みましましょう

月刊・法音 令和3年5月号 No.619 目次

【信仰の指針】忍調 <small>にんじょう</small> 怒りを制することが何より大事です	1
【朝のこない夜はない】 運を引き寄せる	2
山首 鈴木正修	

◆ 講日のご案内	21
◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください	22
◆ 法音寺は「信仰と福祉のお寺」です	24
◆ 仏教説話・弾琴の諭え	25
◆ YouTube「法音寺チャンネル」のお知らせ	33
◆ 知っているようで知らなかった!? 法音寺のこと⑬	34
◆ お寺の本棚	38
◆ のりのね体験	40
◆ 教えて三徳	42
◆ 新主管就任のご挨拶	44
◆ 支院だより	46
◆ 福祉のひろば	67
○ 幸せのお手伝い	68
○ 昭徳会・令和3年度辞令交付式	70
○ 日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科・31期生が巣立ちました	72
◆ 賛助員ご芳名	74
◆ 幸せの種まき／編集後記	76
◆ 連載まんが・ひまわり・100 また会えたネ	77
◆ 法音寺の社会福祉・教育事業	77

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

掲載写真 表紙・信仰の指針・3～21頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・加納将人氏撮影

表紙写真・チュエリッパ

信仰の指針

にん ちよう

忍調

怒りを制することが

何より大事です

日教五



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

運を引き寄せる

法音寺では、「堪忍」といえば村上先生、村上先生といえは「堪忍」というぐらい、村上先生は堪忍の教えを如説修行された方です。その村上先生が最も堪忍されたのが杉山先生ご遷化の時です。法音寺の前身である仏教感化救済会がこの先どうなるかという時でした。

杉山家の代表という人が救済会に突然やってきました。杉山先生の姉(てる刀自)の子、杉山辰造氏です。辰造氏は「救済会の財産はすべて杉山辰子の個人名義であるので杉山家でこれを相続する。速やかに引き渡すように」と主張しました。

ここに至って初めて村上先生は、困苦する人々を救うことに全力を尽くしてきたものの、救済会を維持するための



方策を何も考えてこなかったことに気づかされたのです。

救済会を思う人々は、「法律に依って救済会の安泰を計

ってはどうか」と村上先生に種々進言をしました。しかし、

村上先生は「今、冷たき法律に依って事態を処置したなら

ば、私の三十年来にわたって修養してきた堪忍の徳もたち

まち水泡に帰するのである。必ずやこれは、諸天善神が私

を試験されているのだ」と言われました。要するに、裁

判は喧嘩と同じであり堪忍破りである」ということです。

村上先生は相手に寛容な態度を示し、会員の方々にも堪

忍を誓っていたとき、一年間程かけて交渉をされ、最終的

に辰造氏は主張を取り下げました。そして仏教感化救済会

は財団法人大乘報恩会となり、その役員の一人として杉山

辰造氏が入ることになりました。村上先生は昭和8年のご

法話で次のように言っておられます。

「もし腹立つようなことがあったならば、前会長（杉山先



(生)から教えられた甲斐もないのだと思つて、皆さんにも私の心情を申し上げるとともに、前会長の遺訓をお話しいたしました。皆さんは私の心を了解せられて、互いに力を合わせよく尽くしてくださいました。もしその時、間違いが起こつたならば、この会は解散してしまつたかもしれない。しかるに今日、本会の組織を法人に改めるよう準備を進め、認可もすでに目睫に迫つてゐる有様で、各支部は次第に増加し、会員も昭和七年頃の十倍にもなつたことは、全く皆さんが前会長の遺訓を守つて、ただご法のために真心をもつて努力くださったと同時に、前会長のご守護の賜ものと、深く感謝する次第であります」

『遺教経』にある次の言葉は村上先生を指しているような気がします。

「忍の徳たること、持戒苦行も及ぶあたわざる所なり、よ



く忍にんを行ぎずるものなつはすなわち名なけて有う力りきの大人だいとなす」

大阪おおさか在住ざいじゅうの弁護べんご士しさんにしなかつとむで西中にしなかつとむ務むさんという方かたがおられま
す。『ベテラン弁護べんご士しの「争あそわない生いき方かた」が道みちを拓ひらく』
という本ほんを出だされていなか。その中なかで次つぎのようのに述のべられ
ていなか。

「話はなし合あいで解かい決けつしないから裁さい判ばんをするわけですが、裁さい判ばん
をしなくて済すむならそれ以上いじょうのこはありません。争あそえば
争あそう程ほど心こころがすさんできませす。また、身からだ体たにもよくありませ
ん。本ほん来らいは争あそいと無む縁えんの日ひ々びを送おくる方ほうが幸しあせなのですから。
争あそわずに和わ解かいで解かい決けつすると相そう談だん者しゃが幸しあせになるケースが実じつ
に多おほいのです」

西中にしなかつさんはよく「不ふ思し議ぎな弁護べんご士しさんですね」と言いわれ
るそうです。そんな西中にしなかつさんも、元もと々とは裁さい判ばんでの勝しょう利りをめ
ざす普ふ通つうの弁護べんご士しさんでした。それが特とく別べつな経けい験けんをしてい



き方が変わったそうです。西中さんは「私は過去に三人、人を殺しました」と言われます。「決して鉄砲で撃つたとか、包丁で刺したりしたのではありません。しかし、遺族としてみれば、鉄砲や包丁で殺されたのと同じ気持ちだっ

たと思います」
弁護士になって間もない頃、ある人から借金の取り立てを依頼され、西中さんは相手に内容証明郵便を送って、取り立ての電話をして執拗に請求し続けました。すると、その相手は「西中弁護士に返済の猶予をお願いしましたが認めてもらえなかった」という遺書を残して自殺してしまいました。

次は裁判で嘘ばかりつく証人でした。裁判の中で西中さんはそれをどんどん追及したのです。すると、その人は裁判中に心筋梗塞で倒れ、数日後に亡くなってしまいました。三人目は同和地区の人でした。「娘との結婚に相手の周



りの人が反対をしている。どうにかならないか」という相談でした。西中さんがお母さんと娘さんの話を丁寧に聞いているうちに夕方6時頃になりました。お母さんが「西中さん、どうぞ召し上がってください」と天ぷらを揚げてくれました。西中さんはお腹が空いていなかったのので「結構です。もう失礼しますから」と断って帰ったそうです。すると、お母さんが数日後に「私は弁護士さんからも差別された」と遺書を残して自殺してしまいました。

西中さんは差別など一切していません。本当にお腹が空いていなかったただけなのです。しかし、ひどい差別を受けてきた方はそういう受け止め方をしてしまったのです。

これらの経験が、その後の西中さんの弁護士人生を変えました。それからは、弱い人のその立場に立って弁護士活動をするという信念で長年やってこられたのです。



また、西中さんに大きな影響を与えた人物がいます。和島岩吉弁護士です。西中さんは若い頃にこの人のもとで四年間仕事をされたそうです。和島弁護士は極東国際軍事裁判（東京裁判）に携わった人です。その人から「西中君、僕の事務所には他の事務所で断られた人が最後に頼み込んでくるから、事情をよく聞いてあげてくれよ」と言われたそうです。

非常に印象に残っているのが、ある自治体で議長を務めている人からの相談でした。その人は小さな工務店に自宅の修理を依頼しましたが、仕上がりが気に入らなかったため、代金を支払わなかったのです。そして裁判になりました。裁判では議長さんが勝ち、お金を払わなくて済んだのですが、直ぐに工務店の社長さんが控訴をしたのです。そこで、和島弁護士に相談にきたのです。和島弁護士は書類を見るなり「君、払ってあげなさい。工事したことは間違



いないやろ。君みたいなカネも名誉も地位もある人間が、
弱い立場の人間と争ってどうするんだ」と一喝され、議長
さんは「和島先生がおっしゃるならそうします」と一件落
着だったそうです。これを見て、西中さんは、和島先生の
ように弱きを助ける弁護士にならないといけないな」と思
われたそうです。

ある時、交通事故に遭ってむち打ち症になった男性が相
談にきました。「むち打ち症が辛くて普段の生活も苦しく、
仕事もできない。交通事故の賠償金だけでは気が済まない。
裁判をやってもっとお金を取ってやりたい」と言うのです。
それに対して西中さんは、この人は身体も辛そうだけど、
精神的に参ってきている。これは絶対に裁判を止めさせた
ほうがよいと感じたそうです。「和解しましょう。裁判
はいいことないですよ」と説得して、その男性は結局、小
額の和解金を受け取って裁判をすることを止めました。す



るとその男性は体調が良くなったのです。よくある話だそうですね。おち打ち症は追突されてなるのですが、精神的な要因も大きいそうです。精神的な負担がなくなると、症状が改善するということがよくあるそうです。逆に精神的な負担が増えていくと、うつ病になることもあるそうです。その男性は「和解して本当に良かったです。心が楽になりました。おち打ち症も知らない間に治ってしまいました。ありがとうございます」と言ったそうです。

西中さんによると、交通事故に遭った時に、一円でも多くとってやろうと考える人は大金が入った後に必ずその金額以上の大金を失ったり、トラブルを起こして大きな損失を出したり、また身体を壊したりすることがよくあるといます。

また交通事故以外でも、商取引の裁判で勝って喜んでいると後で会社が倒産したり、不渡り手形をつかまされたり、



経営者が交通事故に遭ったりする例を西中さんは数々見てきたといひます。どうしてそうなるか。西中さんは「怨み」だと言われます。私もそう思ひます。裁判に勝つぐといふことは、相手が負けるぐといふことです。負けた人は怨みます。たとえ相手が死んだとしても怨みは残ります。あの世からでも恨んでまます。隙あらば引きずりおろしてやろう。会社を倒産させてやろう。病気にしてやろうぐといふ風にです。裁判に勝つても、そういう怨念に引張られるのです。だから西中さんの言われるように絶対に争わない方がいいのです。

西中さんは『万人の人生を見たベテラン弁護士が教える「運が良くなる生き方」』という二冊目の本の最初にこう書かれています。

「依頼者は延べ一万人を超える。一万人もの人生を見てきた私にはわかるのですが、世の中には確かに運の良い人と



悪い人がいます。例えば運の悪い人は同じようなトラブルに何度も見舞われます。トラブルで私の事務所にきて、裁判で決着がついた。ところが同じ人がまた同様のトラブルで私に相談に来るのです。そうやって何度も何度も争い事を繰り返す人は本当に多いものです。私は不思議でなりませんでした。が、やはり運が悪いとしか言いようがない。かと思えば全く逆の人もあります。別にトラブルというのではなく、商売に関連した法律相談のために事務所に来るので、やはり何度も繰り返し事務所にいらっしゃる。そして、来るたびに会社は大きくなっているのです。こちらは運が良いとしか言いようがありません。一万人という膨大な数の依頼者を見ているうち、私には運の良い人と運の悪い人の見わけが簡単につくようになってしまいました」

運の良い人と悪い人の違いがこの本にまとめられています。



運うんの良よい人の例れいを紹介しょうかいします。ある大おおきなスーパなーの中なかで精肉店せいにくてんを営いんでいる人ひとが西中にしなかさんに相談そうだんにきました。その人ひとはある日ひ、スーパなーのオーナーおなーから「新あたらしい店みせが入はいるから出でて行いってほいしい」と言いわれました。その当とう時じ若わかかつた西中にしなかさんがそれそれを聞きいて、「これは損そん害がい賠ばい償しょうを請せい求きゆうできますよ」と言いうと、その人ひとは「長ながい間あいだお世せ話わにななってきま
オーナーおなーに後うしろ足あしで砂すなをかけるようようなことはしたくありま
せん。ただこの先さきどうしたら良よいかを相そう談だんに來きたのです」
と言いいました。その後ご、その人ひとがどうしたかといううと、き
れいに掃そう除じをして、入はいる前まえと同おなじ状じょう態たいにし、オーナーおなーに丁てい
寧ねいにお礼れいを言いって出でたそうです。するとオーナーおなーが「突とつ然ぜん
で申もうし訳わけなかつた」と、もつと条じょう件けんの良よい新あたらしい出しゅ店てん場ば所しょ
を紹しょう介かいしてくれたそうです。新あたらしい場ば所しょで商しょう売ばいは大たい変へん繁はん盛じよう
し、もう一店てん舗ぼ出だそうだといううことにななった時とき、以い前ぜんのオおー
ナーから「また戻もどってきてくれないか」と連れん絡らくが入はいり、元もと



の場所に二店舗目を出したところ、どちらも大繁盛したそうです。争わないと運はどんどん良くなっていくということです。

この本の中に「運を運んでくるのは人です。ですから人の付き合いを大事にすることが運を開きます」とあります。人と人をつなげるものは「言葉」です。特に思いやりのある言葉、励ましの言葉、ほめ言葉などです。

西中さん自身の日々の実践を紹介します。毎朝、駅まで自転車で行かれるそうです。そして、自転車置き場に自転車を停められます。そこで自転車の整理をしているおじさんに「おじさん、ご苦労さんやね。ありがとうね」といつも声をかけるそうです。するとある時、そのおじさんが手紙をくれました。「再就職先として自転車置き場に世話になっております。声をかけていただいたのは西中さんが初めてです。こんなうれしいことはありませんでした」とい



う手紙てがみでした。

出張しゅつちやうでホテルに泊とまる時の話はなしです。最近さいきんは部屋へやを掃除そうじした人のメッセージカードがよく置いてありますが、「私はこの部屋へやの掃除そうじ係がかりです。心を込こめて掃除そうじをさせていただきます。〇〇」と書いたカードが置いてあると、西中にしなかさんはそのカードの余白よはくに「〇〇様さま。ありがとうございます。」とお陰かげで快適かいてきに過すごすことができました。西中にしなか務む」と書かかれるそうです。

自分じぶんの勤つとめている事務所じむしょのあるビルに資源回収しげんかいしゅうのトラックが来きていると、必ずかならず「ご苦労くろうさま。ありがとうございます。」と声をかけられています。街頭がいとうでチラシ配くばりをしている人ひとがいます。必ずかならず「ありがとう」と言いって手てに取とるそうです。

事務所じむしょのビルに入はいると警備員けいびいんさんが必ずかならずいます。警備員けいびいんさんにも必ずかならず大きな声こゑで「ご苦労くろうさま」と声こゑをかけられているそうです。



この話から私はデール・カーネギーの『人を動かす』の中の話をおもいだしました。

デール・カーネギーは大勢の実業家を集めて講習会を開催していました。その実業家達に「目を覚ましている間は毎時間一回ずつ誰かに向かって笑顔を見せることを一週間続け、その結果を講習会で発表しよう」と提案をしました。それがどういいう結果を見せたか。デール・カーネギーは一つの例を挙げています。

ニューヨークの株市場外仲買人、ウィリアム・スタインハートさんの手記です。デール・カーネギーは「この手記は別段珍しいものではなく、同様の例は数えきれない程ある」と言っています。

その手記にはこうあります。

「私は結婚して十八年以上になるが、朝起きてから勤めに
出かけるまでの間に笑顔を妻に見せたことがなく、また二



十語としゃべったためしもない。世間にも珍しい程の気難し屋でした。カーネギー先生が『笑顔について経験を發表せよ』と言われたので、試みに一週間だけやってみる気になりました。その翌朝、頭髪の手入れをしながら鏡に映っている自分の不機嫌な顔に言い聞かせました。『おい。今日はそのしかめっ面をよすんだぞ。笑顔を見せるんだ。さあ、早速やるんだ』。朝の食卓に着く時、妻に『おはよう』と言いなながら、ニッコリ笑って見せました。『相手はびっくりするかもしれない』と先生は言われましたが、妻の反応は予想以上で、非常なショックを受けたようです。『これからは毎日こうするんだから、そのつもりでいるよ』と妻に言いましたが、事実、今では二カ月間それが続いていきます。私が態度を変えてからのこの二カ月間、かつて味わったことがない大きな幸福が私達の家庭に訪れています。今では毎朝出勤する時、アパートのエレベーター



ボーイに笑顔で『おはよう』と声をかけ、門番にも笑顔で挨拶するようになりました。地下鉄の窓口で釣銭をもらう時も同様。取引所でも、これまで私の笑顔を見たこともない人達に笑顔を見せます。その内に皆が笑顔を返すようになりました。苦情や不満を持ち込んでくる人にも明るい態度で接します。相手の言い分に耳を傾けながら笑顔を忘れないようにすると問題の解決もずっと容易になります。笑顔のお陰で収入もうんと増えてきました。私はもう一人の仲買人と共同で事務所を使用しています。彼の使っている事務員の一人に好感の持てる青年がいます。笑顔の効き目に気を良くした私は先日、その青年に人間関係について私の新しい考えを話しました。すると彼は私を初めて見た時はひどい気難し屋だと思ったが、最近ではすっかり見直していると正直に話してくれました。私の笑顔には人情味があふれているそうです。また私は人の悪口を言わないこと



にしました。悪口を言う代わりにほめることにしています。自分の望むことについては何も言わず、もっぱら他人の立場に身を置いて物事を考えるように努めています。そうすると、生活に文字通り革命的な変化が起こりました。私は以前とはすっかり違った人間になり、収入も増え、交友にも恵まれた幸福な人間になりました。人間としてこれ以上の幸福は望めないと思っています」

誰しもスタインハートさんのように、運を良くしたい。

幸福になりたい〴〵と思っています。

その鍵は日常の行いにあるのです。

次号に続く



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

大垣支院	5月1日(土)	四日市支院	5月3日(月)
岐阜支院	5月14日(金)	静岡支院	5月22日(土)



有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	5日・15日・22日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	5日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	9日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	12日・29日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ☎連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・9日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	1日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	3日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・23日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	1日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	22日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	2日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	8日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	6日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	2日・7日・20日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・16日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	8日・22日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	1日・16日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	9日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	2日・15日・16日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)441-5445
筑後布教所	9日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	9日・16日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	10日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,400名を越える人達のお世話をさせていただいています



**福祉の様々な分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します**



児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子ども達の
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を越える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています

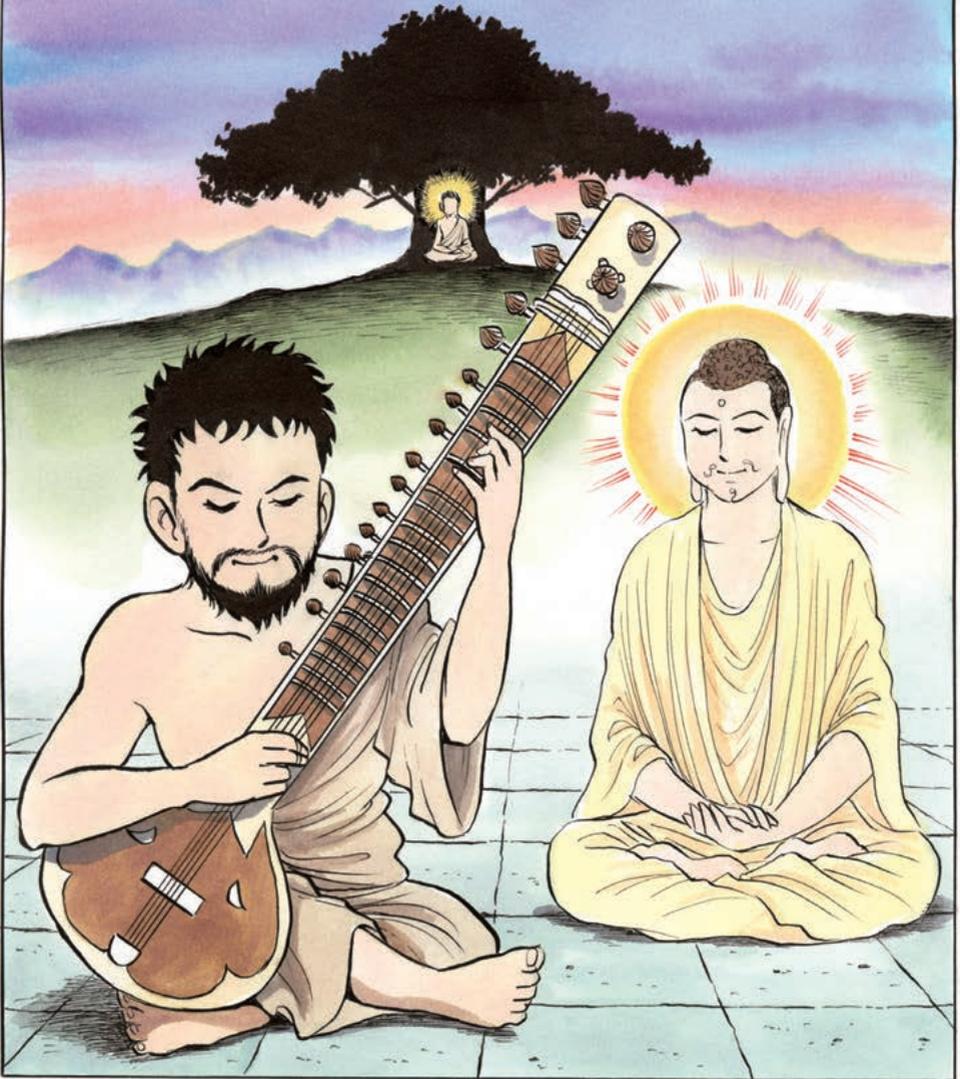


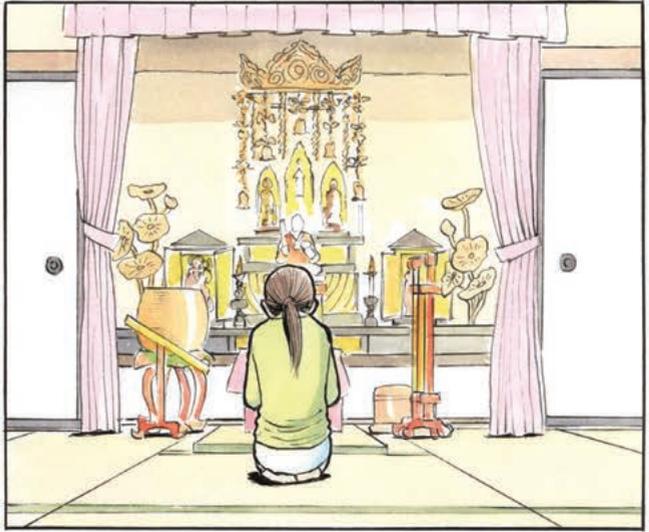
学校法人日本福祉大学を通じて
児童養護施設出身者の就学金に
皆さんの浄財が使われています



ぶつぎよらせつわ
仏教説話

だんぎんたと
弾琴の喩え







そついえは
こんな話が
あるんですよ

その昔
マガタ国の首都
王舎城に大富豪の
家に生まれた
ソーナという少年が
いました



両親からも
可愛がられ
いつも大勢の
召使いに囲まれ
何不自由のない
暮らしをして
おりました



青年になったソーナは
初めてお釈迦さまの
説法を聞き
大層感動したのです



あの日
説法を聞いて以来
今の私の生活は
ただ毎日をおもしろく
送っているだけで
虚しいのだ



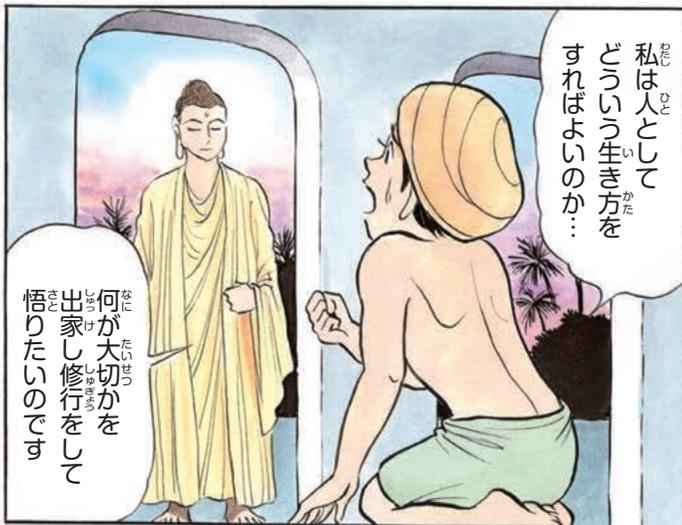
ソーナさま
いかがなされ
ましたか



ソーナは固い決心で
両親を説得し
お釈迦さまのもとへ
向かいました

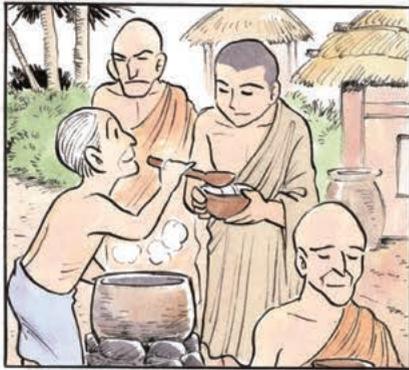


私は人として
どういう生き方を
すればよいのか…



何が大切かを
出家し修行をして
悟りたいのです

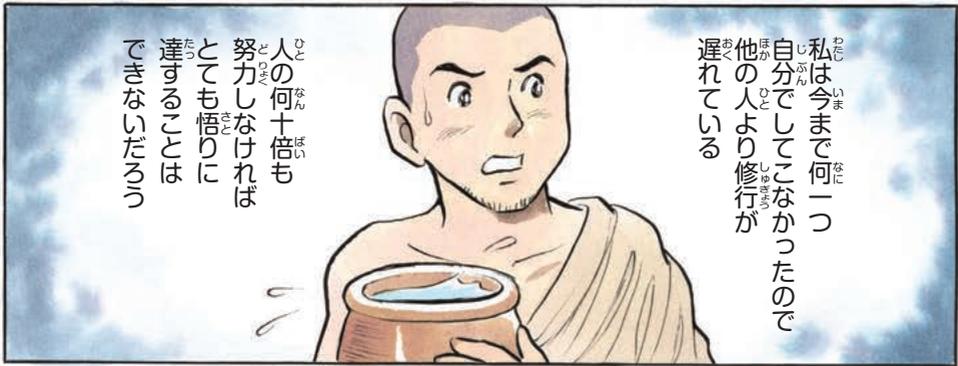
お釈迦さまの
弟子として
出家したソーナは
修行生活を始めました



ソーナ
足から血が
でておるぞ

大富豪の家で
育ったソーナは
足を地につ
けたことなど
なかったのです







これだけ修行を
積んでいるのに
なぜ何の悟りも
得られないのだ

やはり
私の努力と精進が
足りないのだろうか



それでも
ソーナは自らを
励まし修行を
何年も
続けました



あれから
何年経っただろう

どんなに努力し
精進しても
悟りは
得られない



ソーナよ
そなたは夢をうまく
弾けるそうだね

はい幼い頃から習い
よく弾いておりました



ソーナ!
お釈迦さまが
お呼びだ



こんなことなら
もう故郷に帰って
もとの暮らしに
戻ろう





ソーナよ
修行も同じごと
「努力だ精進だ」と
言っても
そればかりでは
執着が生ずる

執着が生じては
目の前にある悟りも
見えてこない
反対に緩めすぎると
急げ心を生ずる



急げてもいけないし
そつかといって
焦ってもいけない

緩急自在に
心をほぐし
執着からも急げ心からも
離れなければいけないのだ



私達は
日々の出来事に対し
心が張りつめすぎたり
緩みすぎたりするものです
どちらにも
極端にならないよう
穏やかな心を保つことが
大切です



ソーナは
ようやく理解し
修行に励みました

それから問もなく
ソーナが求めていた
悟りが知らず知らずの
うちに身についていったのです

YouTube 法音寺チャンネル情報!

いつもYouTubeチャンネルをご覧くださいありがとうございます。
現在公開している動画のラインナップをご紹介します!

▼ こんな方にオススメ ▼



日蓮宗 大乘山法音寺公式
YouTube チャンネルからご覧ください
<https://www.youtube.com/user/houonjimovie>



知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと①7

大荒行に向かう

親のない子ども達を育て、知的障がい児を養護する施設も引き受け、社会事業功労者としての地位も確立した修学（御開山上人）でしたが、日蓮宗の僧侶となれば、一からの修行が待っています。「日蓮宗昭徳教会」を立ち上げた翌年、身延山信行道場に入行。その後、昭和25年7月、「大乘山法音寺」と寺号を公称。信仰の基盤が固まると、次に修学がめざしたのは「日蓮宗大荒行」への挑戦でした。

日本の三大荒行の一つに数えられる日蓮宗大荒行は、11月1日から翌年2月10日まで、百日間行われる猛修行です。

「屈強な青年僧侶でも骨身にこたえる猛修行に49歳という年齢で臨んで、無事に帰ってこられるのだろうか…」と周囲の人々は心配しました。「大荒行は青年僧侶が入るものであるし、これまで多くの人々を救うという行をしてきたわけだから、敢えて挑む必要はないのでは…」と進言する人もいましたが、誰も修学の固い決心を翻すことはできませんでした。

昭和25年10月29日、名古屋駅のプラットホーム。列車の窓が大きく開けられ、その窓を何十人もの人を取り囲みました。「南無妙法蓮華経」と書かれたのぼりを持つ人もいます。

「おとうさん」

「おとうさん」

「早く帰ってきてね」

施設の子ども達が大勢窓に駆け寄って声をかけます。



「おとうさんのいない間、皆さんの言うことをよく聞いて、
良い子でいるんだよ」

〃一人の人間にあんなに大勢の子がいるわけがない。どうい
う人なんだろう〃

〃いったい何事か〃

〃子ども達ばかりでなく、大人もみな別れを惜しんでいる〃

ホームにいる人々も、同じ車両に乗り合わせた人々も首を伸ばしてその状況を見つめ
ていました。

発車のベルが鳴ると、

「ごっごっごっしゃいませ」

「お手紙ちようだいね、おとうさん」

大人も子どももいっせいに手を振り、合掌し、大きくのぼりをはためかせました。どの人も、まるで今生の別れのように列車が見えなくなるまでホームに立ち尽くしていました。

「どうかご無事で…」

同じ車両に乗り合わせた人々の驚きは列車が、途中の駅に停車する度に深くなっていきました。

列車がホームにすべり込むと例外なく、待ちかまえた人達が窓に駆け寄り、同じような別れのシーンを繰り返したのです。

参考文献



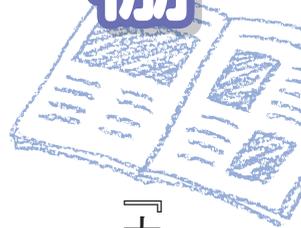
御開山上人伝
『泰山』 第三話





お寺の本棚

『大白牛車』(四)



「悪人」と「善人」

「家の中に悪人が一人でもいれば、その家は幸せ」と言われます。わかりにくいことですが、ここで言う「悪人」とは、何かの度に自分の過ちとして「それは私の不注意です。私が悪うございました」と、「謝れる人」を言うのです。「善人」とは、いつも「私はいい人で、全然悪いことなどしておりません」と言い張っている人です。

常に「自分は正しい」と「善人」を主張する人と、「すみません」と、自分を「悪人」にして素直に謝る人と、住むならどちらの人と住みたいでしょう。

何か事が起きた時、「私は知らない。私のせいじゃない。私は悪くない」と主張するその裏は、直接言葉に出していきなくとも、「アンタが悪い」と言っているのと同じです。これでは収まるものも収まりません。逆に何かあった時、「ああ、私が気づかなかった。すみませんね」と誰かが言えば、そのことはそこで収まります。

年配のご婦人が亡くなられました。その方は、亡くなる直前にご主人に、「今度はごめんなさいね」と言われたそうです。





「もう私は死にますから、あとの面倒は見られません。私がいなくてごめんなさいね。お世話できなくてごめんなさいね」と謝っておられるのです。つまりこの人は、ご主人より先に死に、ご主人のお世話をできない「悪人」なのだから「ごめんなさいね」と言われたのです。

死の直前にこのようなことが言える人は、亡くなられた後「極楽一直線」だと思えます。私もこの人のような思いやりの心を持ちたいと思いました。

「死」を考えると、そのことだけを切り離して考えようとなります。しかし、死は生きているときの続きであって、特別な出来事ではないのです。ですから、普段が悪いのに死ぬときだけ善くなるというようなことは考えられません。過去世も今世も来世も、ずっとひと続きのものなのです。何事によらず、ずっと続いてきた者が突然、全く異なったものになるということはありません。

「カツオ節」は、生きていた時「カツオ」だったから、「カツオ節」になるのです。何百万円もする緋鯉でも、死んでカツオ節にはなれません。今世の即身成仏も、楽に死ぬということも、みな日頃の行い、今・現在の行いによるのです。常に「ありがたい」と思っていればそのままずっとありがたいし、死ぬときもありがたく、あの世に行ってもありがたいに違いありません。今、苦しんでいるながら改めようとしなければ、死ぬときも苦しまなければならぬし、あの世に行っても苦しむことになるでしょう。今日の行い、今日の心がずっと続いていくことを考えてゆかなければならないのです。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

教えて三徳

三徳とは、慳貪（貪り）の心を翻して施しの心とし、

瞋恚（怒り）の心を転じて柔和忍辱に変え、

愚痴を改めて智慧と変えることです。

（二祖・村上斎先生）

◆ 悩み苦しみを小さくするには…

本当の幸せとは、どういう状況なのでしょう。あなたを取り巻く人々がみな笑顔で、あなたも笑顔で暮らしている。そういう状況でなければ、仮にお金があっても、地位や名誉があっても本当に幸せとはいえません。あなたが一人勝ちで、他の人がみな不幸ということでは、あなたは決して幸せにはなりません。自分の幸せを考えるより先に、周囲の人々の幸せを考えましょう。自分の立場を通して、仕事を通して、他の人の苦しみを和らげる努力をしましょう。周

囲の人達にあなたの最大限の友情を発揮していくのです。あなたが幸せになりたいのなら、求めるのではなく、与えること・施すことを忘れないようにしましょう。

《人を喜ばせる》（親切の施し）

人間の根本には、自分が生きることとは大勢の人のお世話になっている。施しを受けているという面があります。自分が施しをすること、自分が生きることによって少しでも周りの人の役に立つ生き方をする、ということなのです。人は良いことをしないです。周囲の人が喜ぶように施していくと、自分の悩みや苦しみが小さくなってあまり気にならなくなります。



新主管就任のご挨拶

令和3年4月、安城支院・名古屋地区・岐阜支院にて新たに主管に就任された三名のお上人からお言葉をいただきました。



安城支院 島田知教上人

山首上人さまより安城支院主管の寺令を拝受し、身が引き締まる思いでおります。

本山にて約三十年務めさせていただき、名古屋地区主管、子ども会、青年会に携わることができ、支えていただいた皆さまに心より感謝いたします。

安城の地に始祖安立大法尼が三徳を下種結縁されたのは大正11年であります。今日まで教えを伝え続けられた先師、また島田行学上人、行い継いで来られた檀信徒の方々に感謝し、教えを絶やすことなく皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。

今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



岐阜支院 前原順徳上人

この度、山首上人さまより岐阜支院主管を仰せつかりました。前原智明上人が岐阜支院主管を拜命した折、日達上人より「檀信徒の方々を喜ばせてあげてください」とお言葉をいただいたとうかがっております。この言葉を聞き、私も、人を喜ばせることの大切さを教えていただいたと思っております。檀信徒の方々がより喜べる環境を作れるよう、精進していく所存です。

まだまだ未熟ではございますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



名古屋地区 前原祐学上人

山首上人さまより名古屋地区主管の任を仰せつかりました。とても大きな責任を感じております。

私は大学を出てすぐに、本山に來させていただきました。以来、山首上人さま、先輩のお上人の大慈悲をいただいてまいりました。この御恩に報いるよう精進する所存です。

今後は三先師、日達上人さまの御智慧がいただけるよう、三徳の実行に励み、檀信徒の皆さまに喜んでいただけるよう努めますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

人を受け入れて関わることのできる支援者になりたい

養護老人ホームで初めて担当したMさんとの出会い

福祉の仕事に就いた当初は、特別な考えや思いもなく、ただ仕事をするだけの毎日を過ごしていました。そんな中、人は相手に受け入れられてこそ、その人に心を開くことができる。人を受け入れることのできる人間になりたい」という思いを持って、利用者さんや入所者さんと関わるようになったのは、ある方がきっかけでした。

養護老人ホームで初めて担当したMさんは、三

度の食事と全員参加の朝の会などの時間以外は、いつも居室で横になって過ごされていました。職員が言葉を掛けると、目は合いますが会話は全くされません。返事を求められる場面では、一言返すのみで、それさえも「はい」とも「いいえ」ともわからないような返答です。暴れることも怒ることもありませんが、笑うこともなく、無表情でただ暮らしている方でした。そんな方でしたから他の入所者との関わりは、全くと言っていい程ありませんでした。そんなMさんを担当しながら「このままでいいのか？これは生活していると言

えるのか？”といつも考えていました。

Mさんと関わっていく中でわかったのは、Mさんは人との関わりが嫌いな人ではなく、関わり方がわからない方なのだということでした。関わり方もわからないから関わらない。自分を受け入れてもらう術を知らないままで、一人黙って暮らしているMさんの生活を担当として何とかしなければ”と悩みました。そこでMさんとの関わりを増やし、密にし、他の入所者さんとの関係の橋渡しをしつつ外界へ連れ出すうちに、Mさんは他者に歩み寄り、笑顔を見せて暮らすようになってきました。他者に受け入れられ、安心感を持つことができるようになると、Mさんは表情や言葉を出し、他者と関わりを持てるようになっていきました。以前とは生活の変わったMさんの笑顔や、

他の入所者さんとカラオケを楽しむ姿は今でも忘れられません。

人が生活をするということを考え、人を受け入れて関わることでできる支援者になりたいという思いを持ったのは、Mさんと出会えたお陰です。Mさんのお陰で、自分を少しだけ成長させることができたとも感謝しています。



授産所高浜安立 山口 真由美

令和3年度 辞令交付式



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会
～コロナ禍を乗り越えた109期生 社会に貢献していきます～

満開の桜に祝福されながら、4月1日（木）、法音寺本堂にて「令和3年度、昇任職員・新規採用職員 辞令交付式」が執り行われました。

今年の昇任職員は15人、新入職員は39人。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、3密を回避し、ソーシャルディスタンスに配慮した会場にて開催されました。マスクを着用して挨拶を交わしている姿が、これまでの辞令交付式の光景とは異なり印象的でした。

開式にあたり、鈴木正修理事長（法音寺山首上人）より、新入職員へ歓迎の辞が述べられました。

「わが法人では、単に人手を求めているのではなく、今後、この法人を大いに発展させ、より一層、社会全体の福祉に貢献できるよう全力を尽くしてください。熱意にあふれた人材を求めています。昭徳会の基本理念は『幸福』です。昔、ギリシアの哲学者アリストテレスは言いました。『我々の求めるもののうち、その最高のものは何か？その答えはすべての人に共通している。それは幸福である』と。今、最先進国である日本の中で幸福を享受できていない



人が多数おられます。そういう人達に慈愛の手を差し伸べるのが皆さんのこれからの仕事です。おそらく職務の途上では、いろいろな困難に遭遇されることもあるでしょう。

しかし、それらを乗り越えてこそ福祉人としての成長、発展があります。積極的に取り組んでくださることを心から願っております。何事も意欲をもって当たれば、自ずと知恵も湧き、道も開けてくるものです。また、そうした歩みの一つひとつが、人生の貴重な経験となっていくと思います。どうか、そうした心構えを持って力強く前進して下さることを願っております。また、何と言いましても心身ともに健康が第一です。身体はもちろん心の健康にも充分気をつけていただきますようお願い申し上げます」

例年であれば、理事長より一人ひとりに辞令が手渡されますが、今年度は感染症予防対策として、理事長より一人ひとりに辞令をお伝えいただいた後、辞令書は会場に設置された交付場所にて各自が受け取るという新しい形での交付となりました。この度昇任した職員は、喜びとともに責任の重さを改めて実感する機会となりました。そして、新入職員は、昭徳会の職員となることへの誇りを感じ、気持ちを新たにしている様子でした。

続いて、新入職員を代表し、村瀬茉莉さん（名古屋若松



寮配属）より、誓いの言葉が述べられました。

「理事長先生より温かい励ましのお言葉をいただき、新入社員一同感慨深く感じますと同時に身が引き締まる思いでおります。昭徳会は、100年を超える歴史の中で福祉に真摯に向き合い成長してきたすばらしい法人と、新入社員一同受け止めております。この歴

史ある法人にて、109期生として、この先の未来を担い、社会に貢献をしていくことに大いなる使命感を感じております。事前の研修でも、『福祉人としての心構え』などを学び、周りの人に喜んでいただける存在となれるよう、改めて一同気持ちを高めています。ところでございます。しかし、私達はまだまだ未熟者でございます。諸先輩方のご指導・ご助言により、一日でも早く信頼していただけるように努力をしてまいります。どうか皆さま、温かく、また時には厳しくご指導くださいますようお願い申し上げます」
今日決意した気持ちを忘れず、昭徳会で活躍して下さることを期待しています。

法人本部事務局 事務員 古田 優佳

31期生が巣立っていきました

日本福祉大学中央福祉専門学校介護福祉士科

2021年3月19日の卒業式の日、第31期生となる介護福祉士科の学生41名が巣立っていきました。本校の歴史の中でもいくつかの「はじめて」を経験し、卒業していった学生達の3つの話題を、紹介させていただきます。

〈外国人留学生全員が卒業・国家試験に合格〉

本校にとって過去最多の留学生数となる11名（ベトナム9名、韓国・インドネシア各1名）を迎え、多文化で活気あふれる学年となりました。留学生は補習授業で日本語を学びつつ、日本語での講義の受講、グループワーク、レポート作成を行い、実習でも日本語で利用者さんとのコミュニケーションに取り組みました。そして、目標の資格取得に向けた国家試験の勉強に励み、全員合格の偉業を成し遂げました。この間、身元

保証人と本校は緊密な連携を図りサポートしましたが、この成果は何より留学生の並々ならぬ努力が結実したものです。4月からは全員、福祉施設で働きます。今後、介護福祉士として誇りを持って活躍することを願っています。

〈日本福祉大学編入学コースの学生が

4月から社会福祉学部3年生に〉

介護福祉士科の卒業生のうち累計で180名以上が日本福祉大学に編入学し、介護福祉士に加え社会福祉



写真提供・日本福祉大学中央福祉専門学校

士国家資格も取得しています。こうした実績を踏まえ2019年度より「大学編入学コース」を開設しました。コースの特徴は、本校在学中にオンデマンド配信される日本福祉大学の科目を受講し、添削指導と単位認定が受けられることです。今春、コースのプログラムを受講した学生を初めて送り出すこととなり、6名が日本福祉大学社会福祉学部の3年次に編入し、新たな学びをスタートさせました。今後、社会福祉士の国家資格取得をめざして頑張り、成長していくことを願っています。

〈厚生労働省の介護人材確保プロジェクトへの参加〉

厚生労働省は介護人材確保の取組みとして、「介護のしごと魅力発信等事業」を展開しています。その中のプロジェクトの一つが、若者目線で介護の魅力を発信する「介護・福祉かえる委員会」の活動です。これからの若者達こそが、介護・福祉を明るく「かえる」ための推進力という考えのもと、福祉を学ぶ高校生や大学生で結成され、全国の専門学校代表として本校

介護福祉士科が選ばれました。

本校より5名が参加し、総勢26名がインターネットでつながったオンラインワークショップ形式で討論を重ねました。本校の学生達は、14名の外国人留学生在が在学する本校の特色を生かし、留学生へのアンケート調査から

介護の専門職としてともに働くために必要な視点と提言をまとめました。そして、互いの文化や習慣が尊重され信頼関係を築くことが、質の高い介護サービスの提供につながることを報告しました。この取組みがBSフジの番組「にっぽんの要」で2月28日に放映されました。



日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科 学科長

高木 直美

幸せの種まき

〃ありがたい〃と
感謝する広い心が
現世を生きる
仏の心です

調子の悪い時程

〃ここを直しましょうね〃という
仏さまの教えと悟り、感謝して進みましょう

大乘山 法音寺

編集後記

以前、山首上人さまはご法話でインシュタインの言葉を紹介されました。

「学べば学ぶ程、この世界は奇跡に満ちていることがわかる。神が創られたとしか思えない。人間の生き方には二通りしかない。あたりまえと違って生きるか、すべてが奇跡と感じて生きるかである」

〃大切にされてあたりまえの自分がそう扱われず、踏みにじられた〃と感じる時に人は怒りを感じるもの。確かに、〃大切にされてあたりまえ〃という前提を外した時、怒る必然性がなくなります。しかし、私達凡夫にとって、〃あたりまえ〃の呪縛はとても根深いものです。

今月の信仰の指針〃怒りを制することが何より大事です〃を私達は深く考えようではありませんか。〃怒りを制する〃ということは、〃あたりまえ〃を〃ありがたい〃という認識に変えること。いかなる不都合にも感情を荒立てず、〃仏さまは私に悟らせよう〃と、その練習としてこの状況を与えてくださったのだ〃と感謝に変えて功德としたものです。

今月の『支院だより』では、「ありがたい」という言葉をよく目にしました。やはり法音寺の信者さんはさすがですね。



あ また会えたネ

竹中 淳











そして二カ月後

もう田中先生
だけです

遅くまで
ごめんなさい
もう帰ります

先生降り出し
ましたよ

うわ、
私傘持って
来なかつたわ

じゃあその
借りたら？

え？

先生知らない
んですか？
一カ月くらいに
なるかな…

たしか先生の
クラスの子だよ
これを考えた
のは

え？
…
だれ？

ホラ
以前
職場体験の時
私の仕事
が
見た
いて
来た
子
達
です
よ

蓮くん
達ね…

！



おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和3年5月号・No.619・令和3年5月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社